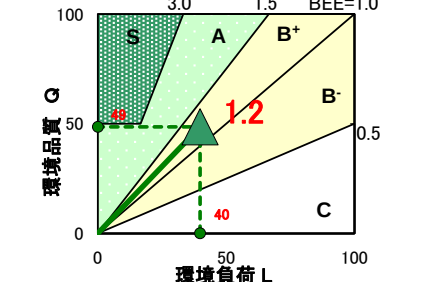
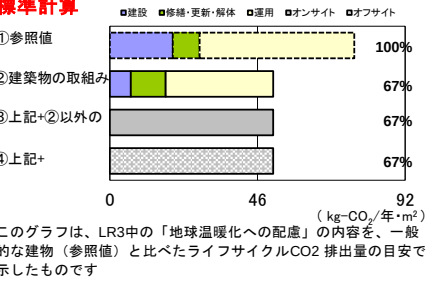
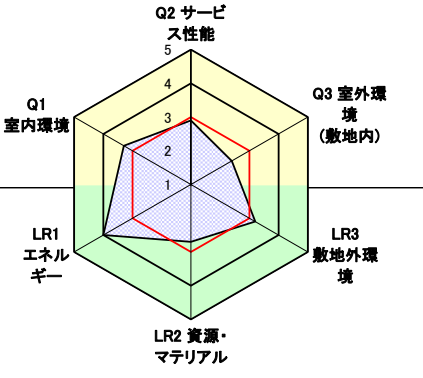


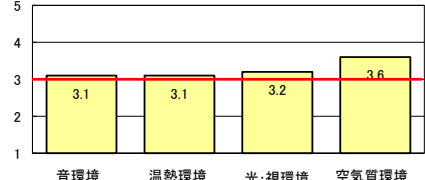
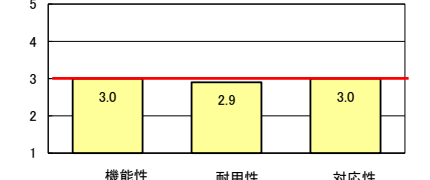
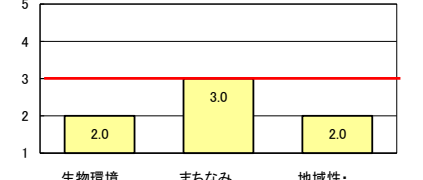
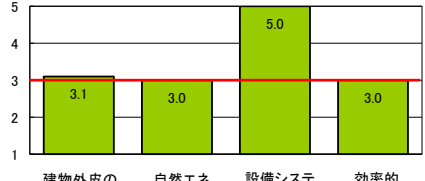
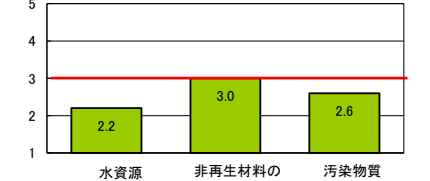
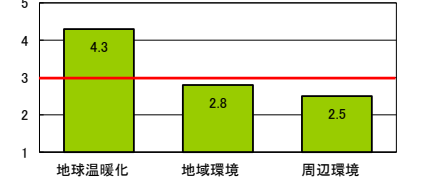
CASBEE®-建築(新築)

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 | 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v4.0)

1-1 建物概要			1-2 外観	
建物名称	(仮称)千葉市若葉区都賀四丁目計画	階数		
建設地	千葉県千葉市若葉区都賀四丁目6番地	構造		
用途地域	第一種中高層住居専用地域	平均居住人員		
地域区分	6地域	年間使用時間		
建物用途	集合住宅	評価の段階		
竣工年	2023年9月 予定	評価の実施日		
敷地面積	2,986 m ²	作成者		
建築面積	1,501 m ²	確認日		
延床面積	6,449 m ²	確認者		

2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)	2-2 ライフサイクルCO ₂ (温暖化影響チャート)	2-3 大項目の評価(レーダーチャート)
BEE = 1.2 S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★ 	標準計算 30%: ★★★★★ 60%: ★★★★★ 80%: ★★★★★ 100%: ★★★★★ 100%超: ★★★★★ ①参照値 ②建築物の取組み ③上記②以外の ④上記+  このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです	

2-4 中項目の評価(バーチャート)		
Q 環境品質		
Q1 室内環境 Q1のスコア= 3.3 	Q2 サービス性能 Q2のスコア= 2.9 	Q3 室外環境(敷地内) Q3のスコア= 2.4 
LR 環境負荷低減性		
LR1 エネルギー LR1のスコア= 4.0 	LR2 資源・マテリアル LR2のスコア= 2.7 	LR3 敷地外環境 LR3のスコア= 3.2 

3 設計上の配慮事項		
総合		
省エネルギーや環境負荷の軽減を考慮しつつ、敷内に防犯や利便性、室内の快適性に配慮した計画としている		その他 ・複層ガラスを採用し、断熱性、防犯性、結露予防などに配慮している
Q1 室内環境 ・戸境壁は木軸下地二重壁を採用し、Dr値50を目標値として設定 ・F☆☆☆☆を床、壁、天井、天井裏の面積の70%以上に採用	Q2 サービス性能 ・住宅性能表示基準劣化対策等級3を取得予定	Q3 室外環境(敷地内) ・自治体の景観計画に適合した彩色とした
LR1 エネルギー ・住宅性能表示基準断熱等性能等級4を取得予定 ・潜熱回収型給湯器を採用 ・LED照明設備を採用	LR2 資源・マテリアル ・二重壁・二重天井を採用し、資源の再利用に配慮している	LR3 敷地外環境 ・ライフサイクルCO ₂ 削減に配慮している

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)

■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)

■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される